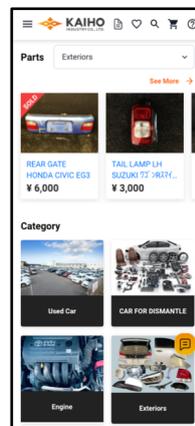
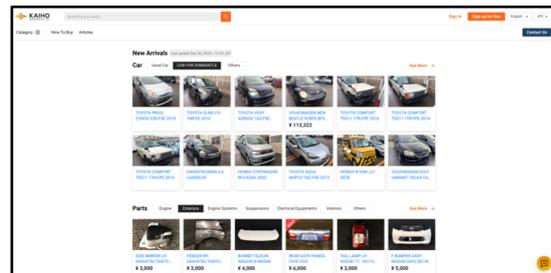




日本発で世界初、自動車リサイクル部品を受注生産方式で海外へ販売できる 越境ECサイト「ePartsWorld」 2025年1月15日オープン！出品企業の募集受付を開始

自動車のリサイクルを手掛ける会宝産業株式会社(本社:石川県金沢市、代表取締役社長近藤高行、076-237-5133)は、自動車リサイクル部品の越境ECサイト、「ePartsWorld」を2025年1月15日にオープンします。

「ePartsWorld」は、国内の自動車リサイクル企業が手間をかけずに海外のバイヤー向けに販売できる越境ECサイトです。大きな特徴は、注文を受けてから部品を生産できる受注生産方式にできることです。これにより無駄な生産が省け、効率を高めることができます。このようなECサイトは、世界初(自社調べ)の取り組みとなります。このたび、オープンに先立ち、出品企業(解体業の許可を有する)の募集受付を12月16日に開始し、下記のとおり説明会を実施します。



「ePartsWorld」出品者説明会開催概要

日時: 2025年1月14日(火) 11:00~17:00
場所: ビジョンセンター東京駅前(要予約)

参加方法:
お問合せフォーム(<https://kaihosangyo.jp/contact/>)
または、お電話(076-237-5133)による事前申込み

「ePartsWorld」オープンの背景:

会宝産業が2022年から海外バイヤー向けに販売してきたECサイトでは、2022~24年の直近2年間で、輸出売上が141%増加しました。取引できる国は、アフリカをはじめとするグローバルサウス各国を含む90カ国にのびています。海外市場では日本の中古自動車リサイクル部品に対して、さらに多くの潜在的な需要があると見込まれるため、広く出品企業を募るべく、ECサイト「ePartsWorld」をオープンすることになりました。かねてから海外向けに販路拡大してきた会宝産業の知見を活かし、国内企業の活性化とリサイクル部品の活用の可能性を広げることで、循環型社会の構築に貢献します。「ePartsWorld」では、2030年度に、流通(取扱い)金額を100億円/年にするを目標とします。

「ePartsWorld」の特徴:

- ・中東、ヨーロッパ、南米、ロシア、アフリカなどの海外顧客へ直接販売できるチャンネルを提供します
- ・海外のお客様との直接取引交渉は不要です
- ・輸出貿易手続きは不要です
- ・コンテナ輸送を活用するため、部品の輸送コストを抑えることができます
- ・お客様から注文を受けてから生産する方式にできるので、生産効率を高めることができます
- ・自動翻訳機能(英語、ロシア語、ポルトガル語、スペイン語)があるため安心して活用することができます
- ・1台あたり180品目の部品販売が可能です

(会社概要) 会宝産業株式会社 URL: <https://kaihosangyo.jp/> <https://kaihosangyo.com>
代表取締役社長 近藤高行 設立 1969年5月 資本金 8,200万円
本社 〒920-0209 石川県金沢市東蚊爪町1丁目25番地 TEL 076-237-5133
事業概要 自動車リサイクル